

「西部地区中学校再編アンケートの結果報告及び意見交換会」の概要

平成28年5月20日 銚子市立第六中学校体育館

平成28年5月24日 銚子市立豊里小学校体育館

平成28年5月25日 銚子市立本城小学校体育館

1 これまでの経緯

平成27年2月	「新中学校再編方針」を公表
平成27年5月	中学校区ごとの地区別説明会を実施
平成27年6月	市議会で「中学校再編に対する銚子市教育委員会の慎重な対応を求める」旨を決議
平成27年12月	西部地区対象にアンケート調査を実施
↓	
平成28年5月	アンケートの結果報告及び意見交換会

銚子市教育委員会では、アンケート結果を踏まえ、交通手段について検討した結果、スクールバスを導入し、生徒や保護者の心的・体力的な負担軽減について対応していきたいと考えている旨を説明した。

また、意見交換会では、西部地区の中学校再編について、参加者の皆様から、たくさんの質問やご意見をいただいた。

2 「主な質問・意見」と「教育委員会の考え方」

主な質問・意見	教育委員会の考え方
(1) スクールバスについて	
①運行本数や運行時間、乗降場所 ②部活動や短縮日課への対応	六中、七中学区に各2台のバスが、朝夕それぞれ2便の運行を予定している。運行時間や乗降場所等の詳細については、統合準備委員会で検討する。
③JRとの併用は可能か。交通費は出してもらえるか。	基本的にはJRとスクールバスのどちらを選択するか決めてもらう。スクールバスについては人数点呼等を行うことで、乗り遅れを防ぐとともに、安全面の配慮を行う。通学に係る交通費については市が負担する。
④猿田地区への運行 ⑤五中学区も含めた学区全体で考えるべきではないのか。	六中学区、七中学区の運行を予定しているが、運行ルート及び乗降場所については統合準備委員会で検討する。

(2) 統合校の設置場所について	
①旧銚子西高跡地を候補に挙げないのか。 ②五中の位置は銚子市全体から見ると、西部とは言えないのではないのか。 ③銚子中と五中の場所が近すぎる。 ④生徒数が減少しているので、六中や七中の場所でも十分。	旧西高校舎等の老朽化の状況などから、財政的な負担をできるだけ抑えた方法で、子どもたちの教育環境を整備することを考えた。 また、統合校の学校規模を想定すると六中と七中では教室の数が足りないため五中の場所が最適と考えた。
(3) 統合時期について	
①平成31年4月には統合校が開校することは決定なのか。 ②統合に向けて時間をかけてほしい。	平成31年4月の新中学校開校に向けてのスケジュールはすでに1年以上遅れてしまっている。校名の決定をはじめ、校章や校歌、制服の選定や新たな校則の策定、備品の整理等、3校の閉校と新中学校の開校に向けての準備期間を十分に確保するためには、統合が平成32年度以降に遅れることもあり得る。
③制服が間に合わなければ、統合が遅れるのか。	新中学校開校時に全学年の制服が揃っていることが理想ではあるが、そのことが統合年度を決定するものではない。
④なぜ西部から統合するのか。	東部の統合校は新築する予定で、着工には数億円の一般財源が必要となるが、数年後にこの財源を確保することは困難である。そこで、財政負担が比較的少ない西部地区から着手することとした。
(4) 今後のスケジュールについて	
①7月に決定ということだが、市議会に諮らないで決定できるのか。 ②市議会でまだ統合についての計画が不十分だということになれば、さらに統合が延びることもあるのか。 ③議会は何月の議会にかけるのか。 ④早く決定してほしい。	市議会に対しては速やかに方針を報告し、ご理解いただけるよう努めていく。 議会への上程時期については検討中である。7月には教育委員会としての最終的な方針を決定する。
(5) 統合校のあり方について	
①制服やジャージ、校歌はどうなるか。	新たな学校を創設することを前提とし、校名、制服、ジャージ等を統合準備委員会の中で、公募も含めて十分に検討した上で決定する。

②学級編成についてはどうなるのか。	統合初年度における３年生については、２年時までの学級を維持するか、統合時に編成し直すかを慎重に検討する。
（６）統合前の区域外通学について	
①統合前に五中へ入学することは可能か。 ②統合が決定した場合、入学者が減り、六中や七中の下級生が数名になってしまうかもしれないが、どう考えているか。	統合前の区域外通学については、基本的には指定された学区の学校へ通学していただきたい。ただし、特別な事情によっては、やむを得ないことではないかと考えている。
（７）その他	
①子どもたちの心情面への配慮をお願いしたい。 ②生徒同士の事前交流を希望する。	子どもたちの心理的負担を軽減するための手立てについては、保護者、地域の方、現在の五中、六中、七中の教職員と十分に検討していきたい。また、新中学校での学校生活にスムーズに移行できるよう、事前の交流会についても検討する。
③生徒向けのアンケートはとらないのか。	「新しい学校づくり」を進めていく際には、生徒の意見を聞き、不安を解消する手立てとしたい。
④西部から学校がなくなることで、災害時の避難所についての心配。 ⑤統合による人口の減少についても考えてほしい。	教育委員会としては、子どもの教育的見地から学校再編を考えており、魅力ある学校を創ることが将来のまちづくりにつながるものと捉えている。 人口の減少や災害時への対応については、市全体の問題として考えていきたい。

３ 今後の予定

アンケート結果及び「アンケートの結果報告及び意見交換会」でいただいたご意見をもとに協議し、平成２８年７月中に、西部地区中学校再編についての教育委員会としての最終的の方針を決定します。